

# 臨床工学技士国家試験出題基準の作成について

## 1 はじめに

臨床工学技士国家試験出題基準は、その試験の内容を具体的項目で示したもので、国家試験の問題作成に活用されています。

「出題基準」とは、試験を実施する際に重要な指針となるものであり、以下のような位置づけがあると考えます。

出題基準は、試験の目的や目標を明確にし、受験者がどのような知識やスキルを評価されるのかを示す重要な指針です。出題基準に基づき試験問題を作成することによって、試験の内容が一貫性を持ち、受験者に公平かつ透明な評価を提供することが可能となります。出題基準は、試験の設計・実施・評価における基本的な枠組みを形成し、教育課程との整合性を保つ役割も果たします。さらに、出題基準を基に問題を作成することで、教育機関や試験機関の信頼性を高め、受験者に対して明確な学習目標を提示することができます。

## 2 改定経緯

臨床工学技士国家試験出題基準は、平成 16 年 3 月の臨床工学技士学校養成所指定規則が一部改正され、学校養成所の教育カリキュラムが大綱化されたことに伴い、国家試験の妥当な範囲とレベルを設定するために、平成 19 年版として取りまとめられました。その後、平成 24 年版および令和 3 年版の 2 度の改定を経て、国家試験の問題作成に活用されています。

近年、国民の医療へのニーズの増大と多様化、チーム医療の推進による業務の拡大、医療機器の高度化・複雑化などにより、臨床工学技士に求められる役割や知識等が変化しています。これら臨床工学技士を取り巻く環境の変化に対応するため、令和 4 年 3 月に臨床工学技士学校養成所指定規則および教育カリキュラムが一部改正され、令和 5 年 4 月から運用されているところです。

こうした状況の中、臨床工学技士出題基準作成委員会において、令和 5 年 8 月から現行の教育及び医療水準等を踏まえた出題基準の改定について議論を重ね、検討が行われた結果、今般、新たに出題基準が取りまとめられました。

今般取りまとめた出題基準は、令和 8 年の臨床工学技士国家試験から適用されます。

令和 6 年 12 月

臨床工学技士国家試験出題基準作成委員会  
委員長 吉野 秀朗